

『文しょうもんだい4』

文**しょ**うもんだいを やつて みよう。こたえ
を 文**しょ**うの 中なかから みつけよう。

【れいだい】

つぎの 文**しょ**うを よんで、といに こたえ
よう。

よるに なつて おとうさんが かえつて き
ました。おとうさんは、
「どちゅうで と 雨あめが ふつて きたよ。」
といいました。

雨あめが ふつて きたと きいて、ぼくは てる
てるぼうずを つくる ことに しました。
あしたは えんそくです。どうか はれますよ
うに。

(一) □に 入る ことばを アから ウから え
らぼう。

ア ぽつぽつ イ しんしん
ウ ひゅうひゅう

(2) あしたは なにが ありますか。

【こたえ】

- (1) ア
(2) えんそく

【かいせつ】

(1) は 雨が すこし ふつて きた ようす
を あらわす ことばが 入ります。

(2) は 文**しょ**うの つぎの ばしょに かかれ
て います。

よるに なつて おとうさんが かえつて き
ました。おとうさんは、

「どちゅうで ぽつぽつと 雨が ふつて きたよ。」
といいました。

雨が ふつて きたと きいて、ぼくは てる
てるぼうずを つくる ことに しました。
あしたは えんそくです。どうか はれますよ
うに。

⁽²⁾ あしたは えんそくです。どうか はれますよ

つぎの 文しょうを よんで、といに こたえ
よう。

(3) 「のぞみ」と 「こだま」は どちらが はや
いですか。

日本ぜんこくの大好きなまちをはしる、一いちばんはやいれつ車はしんかんせんです。

しんかんせんには、「のぞみ」や「こだま」という名まえがついています。「こだま」よりも「のぞみ」のほうがうんとはやすくはしれます。

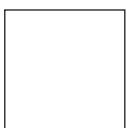
ぼくは、なつ休みにあこがれの「のぞみ」にのつておじいちゃんのいえにいきます。いまから□しています。

(1) しんかんせんの名まえを二つみつけて
かこう。

(2) 日本ぜんこくの大好きなまちをはしる、
一いちばんはやいれつ車はなんですか。

(4) □に入ることばをアからウからえらぼう。

ア わくわく
イ ぶるぶる
ウ ジんじん

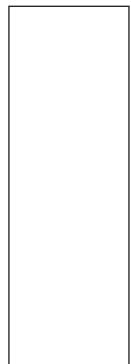


つぎの 文しょうを よんで、といに こたえ
よう。

ぼくと おにいちゃんが こうえんに いつた
ら、木の はが と おちて きました。
「この はっぱを あつめて 火を つけたら、
たき火が できるよ。」

と おにいちゃんが ぼくに おしえて くれま
した。ぼくと おにいちゃんは、はっぱを いっ
しょうけんめい あつめました。そして おかあ
さんを よんで、みんなで たき火を しました。

(1) ぼくと おにいちゃんは どこに いつたの
ですか。



(2) おにいちゃんが ぼくに おしえて くれた
ことは なんですか。 に 入る ^{はい}ことばを
かこう。

(3) が できると いう こと。
アから ウから えら
ぼう。
ア ザあざあ
イ ぽつぽつ
ウ ひらひら





つぎの 文しょうを よんで、といに こたえ
よう。

日本 の れつ車 の 中で、一ばん はやい れつ
車は しんかんせんです。しんかんせんは はや
いだけで なく、とても あんぜんです。
しんかんせんには、「のぞみ」や「こだま」と
いう 名まえが ついて います。「こだま」より
も「のぞみ」の ほうが うんと はやく はし
れます。

(1) 日本 の れつ車 の 中で 一ばん はやい
れつ車は なんですか。

(2) しんかんせんは どのような れつ車ですか。
□に 入る ことばを かこう。

しんかんせんは

(3) しんかんせんの 名まえを 二つ みつけて
かこう。



つぎの 文しょうを よんで、といに こたえ
よう。

ができると いう こと。

ぼくと おにいちゃんが こうえんに いくと、
たくさんのはっぱが おちて いました。

「このはっぱを あつめて 火を つけたら、
たき火が できるよ。」

と おにいちゃんが いったので、ぼくは いつ
しうけんめい はっぱを あつめました。そし
て おかあさんを よんで、みんなで たき火を
しました。からだが ぽかぽかに なりました。

(2) たき火を した 人は
みつけて かこう。
さん
にん

(1) おにいちゃんが ぼくに おしえて くれた
ことは なんですか。 □に 入る ことばを
かこう。

(3) たき火を すると、からだは どんなふう
になりましたか。

を つけると
を あつめて

に なつた。

--	--	--



つぎの 文しょうを よんで、といに こたえ
よう。

おこめは わたしたちの くらしに かかせない
い ものです。おこめは そのまま たべる だけ
ではなく、いろいろな ものに つかわれて
います。

、おだんごや おせんべいなどの おか
し。すや みりんなどの ちようみりょう。ほ
かには せっけんなどに つかわれる ばあいが
あります。

おこめは、ずっと むかしから 日本に あります
す。むかしの ひと も おこめを たべて いたの
です。

(1) おこめは どんな ものに つかわれて いま
すか。□に 入る ことばを かこう。

などの おかし。

や

ウ イ ア でも
だから たとえば

(3) □に 入る ことばを ぼう。
アから ウから えら

などの ちようみりょう。ほかには

ばあいが あります。

(2) おこめは いつから 日本に ありますか。

などに つかわれる



つぎの 文しょうを よんで、といに こたえ
よう。

おこめは いろいろな ものに つかわれて
います。たとえば、おだんごや おせんべいなど
の おかし。すや みりんなどの ちようみりよ
う。ほかには せっけんなどに つかわれる ば
あいが あります。

(一)なぜ おこめは わたしたちの くらしに
かかせません。おこめが ないと とても こまつ
て しまいます。

おこめは
いるから。
に

とても

(3)おこめが ないと わたしたちは どうなつ
て しまいますか。

しまう。

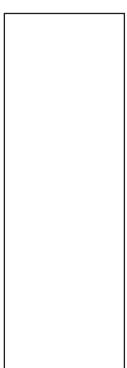
(2)おこめは どんな ものに つかわれてい
ますか。□に 入る ことばを かこう。

など
の
おかし。
や

など
の
ちようみりよう。
ほかには
や

など
に
つかわれる

ばあいが
あります。



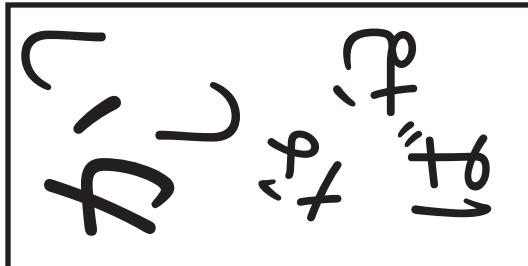


からびかえクイズに ちよつせん。

5

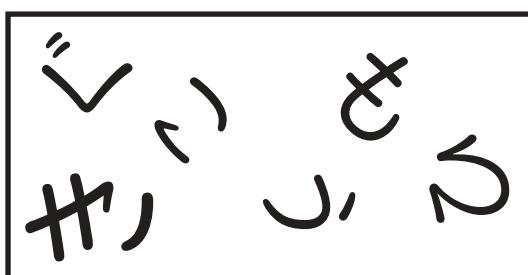
レベル

1 ひらがなを からびかえて いろはを つくつ。



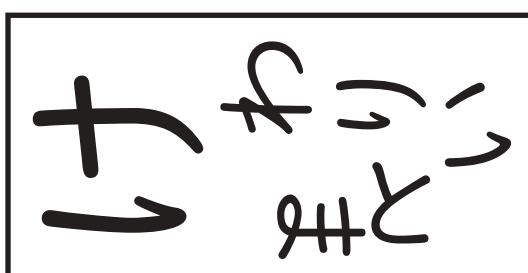
むかし むかし から はじまる もはなし

--	--	--	--	--	--



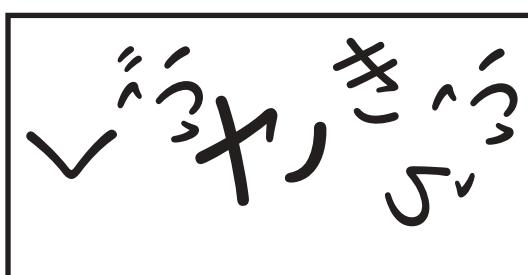
ひづれの とねりたぬい でれる ほそながい くわ

--	--	--	--	--	--



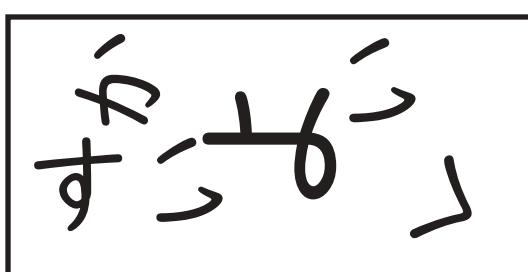
むかしの はづの まわりかたの こと

--	--	--	--	--	--



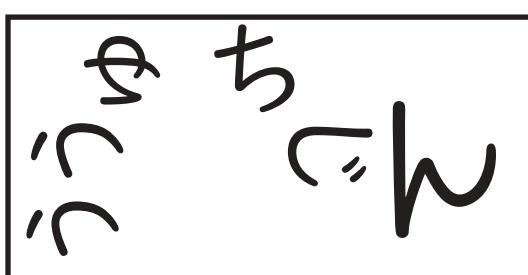
たべもの はなひらが ゆかの ちいに せん せんす

--	--	--	--	--	--



からかんで おもしろい あそぶ

--	--	--	--	--	--



かわきのから やらめいたる

--	--	--	--	--	--